

2011年夏

ちくちく通信



平成23年6月現在
会員32名で活動しています。

12件の医療機関さまに

お洋服・型紙を提供しています

みなさん、はじめまして。
『ちくちく通信』では、最近の会の様子や、会員さんの紹介、お洋服作りに役立つ情報など、季節ごとにお伝えできたらと思っています。ご意見・ご感想などお待ちしております。

【5月のちくちくの会】

5月19日（木）
参加メンバーは、会員さん8名と
こどもさん4名。初めて参加していた
方も。泣いたり笑ったりしな
がらの交流会と、縫い物。
大事な時間が
過ごせました。



【現場からの声】

お洋服を提供した医療機関さんからの声をご紹介します。
(ご了解いただいて、医療機関名を公表しています)

西神戸医療センター様より（抜粋）

～先日、悲しいことですが服を着せてあげる赤ちゃんがいました。
ちっちなお風呂に入れてあげた後、着せてあげるとサイズもぴったりで、そのお母さんからも「かわいい」と声が出て、じっと赤ちゃんを見つめていました。

誰が作ってくれたのかと質問があったので、ちくちくの会のことを少し話させていただきました。すると、そのおかあさんは、すごく感動されていました。

(中略)

私の病院では、スタッフみんなの意識とともに何かが変わる気がしています。まだまだ始まったばかりなので手探りですが、ちくちくの会に出会えたこと、赤ちゃん達に関わることが出来ること、すべてに感謝します～

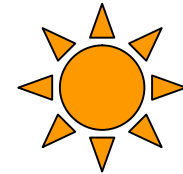
心温まるお手紙をありがとうございました
活動の励みになります

【おしらせ】

ちくちくの会に参加をご希望の方は、HPで
日程を確認のうえ、メールでご連絡ください。
人数に限りがある場合があります。
ご参加、お待ちしております。

天使ママからの声

2009年2月に初めて授かった大切な息子さんを前期破水、人工死産で亡くされました。
転院の後、数々の困難を乗り越えて、2010年8月に弟くん誕生。
愛する息子さんたちを思いながら、忙しく日々を頑張っているママさんです



第1回から、ほとんど参加させてもらっています。
ちくちくの会では、堂々と天使ちゃんのことを思って泣くことができます。
家族にも打ち明けられない思い…それを出していい場所。
天使ママたちには必要な場所なんだと思います。



この会に参加する時は、「天使ちゃんのパパ」として胸を張って参加できる
ところがいいです。



今でこそ「子どもを亡くした」と、わりとオープンにいえるようになりましたが、
やはり1周年までは特に辛かったです。でも、天使ママさんとの出逢い・繋がりが
私を支えてくれました。この繋がりがなければ、私は、きっともっと長く暗闇をさまよっていたんじゃないかと思います。

私は、子どもを亡くした後に医療関係者からひどい扱いをされたことで、辛い思いをしました。
同じ思いをする人がいなくなってくれるよう、祈るばかりです。



天使ちゃんのことを思いながら地道にしてきた活動が、医療機関からの要請を頂いたり、セミナーに
参加させて頂くことになったりして、大切に必要活動なんだとわかることがとても嬉しいです。
私が、そこに参加できていることも、嬉しく思っています。



現在は、特に地上ママになったこともあり、日々の生活に追われるようになり、天使ちゃんのお洋服作りをする
時間がなかったり、ミシンを出せる環境にありません。みんなで集まってお洋服作りをするという日が決まっていたら
取り組みやすいというのも私には合っています。